

潜入!! 工場現場 研究

途ちゅアフター

第28回 >>> 最先端研究拠点 「Biohealth open Innovation Hub」



トチュー調査員

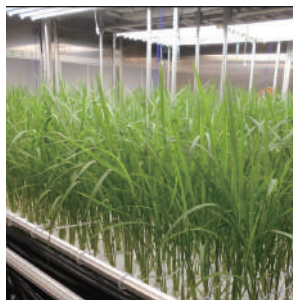
千葉大学の柏の葉キャンパス内に生物や健康分野の研究拠点が誕生したんだって。いったいどんな研究が行われているんだろう。さっそく行ってきたよ

今年の5月、千葉大学柏の葉キャンパス内に、新研究拠点「Biohealth open Innovation Hub (バイオヘルス オープン イノベーション ハブ)」が誕生しました。ここでは植物と人との関わりをテーマにした食・環境・健康の複合的な研究をします。

研究施設では、バイオテクノロジーやヘルスケアなどを中心に、大学・企業・地域が連携しながら、大学内外の研究や技術を組み合わせ、新しいアイデアや成果を生み出すことを目指しています。さらに、共用機器や実験室、大学研究機関、企業との共同研究のためのオープンラボが整備されていて、さまざまな研究の拠点として活用されていきます。



作物を育てる植物工場



飲むワクチンになる稲

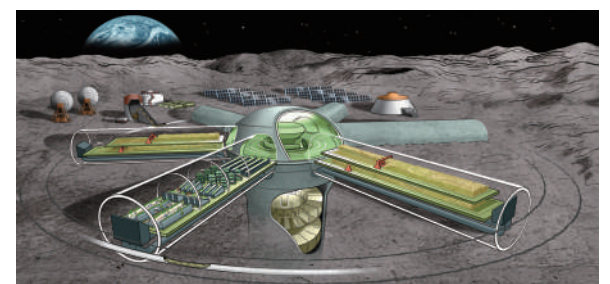


このスタイリッシュな建物が研究所なんて驚きです



この施設では、遺伝子組換えされた稲を栽培・収穫し、医薬品の基になる原薬を作ることで、ワクチンの効果を持つお米を使った「飲むワクチン」の開発が進められています。こうした一連の取り組みは、日本だけでなく世界的に見ても珍しいんだとか。注射が苦手な子どもや高齢者はもちろんのこと、注射針の使用が難しい発展途上国などでも大きな助けになると期待されています。

その他にも、月面での生活を見据え、宇宙空間に適した食料品種や効率的に作物を栽培する技術の開発などを行うそうです。施設内には、光・酸素量・温度などを自由に調整できる設備が整っていて、宇宙空間に近い環境を再現することができます。こうした技術が実用化すれば、地球上で食料生産が難しい地域などでも生産が可能になるかもしれません。



月面農場全体イメージ

©宇宙航空研究開発機構(JAXA)

柏の地で宇宙規模の研究が行われているなんて驚きです。今後、私たちの生活や医療の常識が変わっていくかもしれませんね。ご協力いただいた千葉大学と経営戦略課の皆さん、ありがとうございました!

トチュー調査員の もっと知りたい!

Q1 施設にはどんな設備があるの?

A 熱帯、高山帯、砂漠の環境を再現して植物を育てる実験室や、果実のビタミン・食味成分の分析装置があります

Q2 ほかににはどんな研究をしていくの?

A 作物の根・茎・葉などの食べられない部分を微生物の力で分解・除去する生物処理をして、水と肥料に戻して再利用する「資源再生研究」などがあります

【問い合わせ】 広報広聴課 ☎7167-1175・FAX 7166-8289